

みいな

2019.3.5
vol.55

誰もが輝く
まちづくりを
めざして

みんなで

いっしょに

ながよく

男女共同参画フォーラム2018

～ひとひと 女と男 ともに輝くまちづくり～



ちひろさんによる弾き語り



男女共同参画推進事業者表彰式



男女共同参画フォーラム実行委員会による市の歌斉唱



「私と小鳥と鈴と」「星とたんぽぽ」「積もった雪」など全11曲を披露

那須塩原市では男女共同参画社会の推進のため、毎年、男女共同参画フォーラムを実施しています。

今年度は平成30年12月2日(日)三島ホールにて開催されました。「那須塩原市の歌」斉唱で幕を開け、今年で5回目になる男女共同参画推進事業者表彰では、家庭生活との両立に心をくばった勤務体制や性別によらない採用などが評価された4つの事業者が表彰されました。(詳細中面)

その後は歌手・作曲家のちひろさんによるトークコンサートが行われ、金子みすゞの心・マザーテレサのメッセージからみた男女共同参画についてお話をいただきました。金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴と」「大漁」やマザーテレサの言葉にちひろさんによる曲が付けられた歌とともに、2人の人生や詩の背景などが透き通った優しい声で語られました。「みんなちがってみんないい」男性も女性も、お互いを認め合い、今を自分らしく生きることの大切さが伝えられました。



平成30年度 那須塩原市男女共同参画推進事業者表彰



本市では、男女共同参画社会の実現を目指して、女性の積極的登用や能力活用、仕事と家庭生活の両立支援など、男女がともに働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる市内事業者を称えるため、表彰制度を設けています。

平成30年度は、次の4つの事業者の表彰が決定され、「男女共同参画フォーラム2018」において表彰式が行われました。

株式会社伸光製作所那須工場

業種： 製造業（樹脂切削加工）
所在地： 東原28-5

昭和38年の創業以来、プラスチック切削加工のみに従事してきました。医療・通信関係の部品製造が主で、中でも極小部品の製造、量産が特徴です。

取組み事例

◆性別によらない採用

直近6年の採用比は男女比4：6であり性別によらない採用がなされています。製造、検査、材料管理、庶務、営業事務の全部署に女性が配属されており、活躍しています。

◆本人の希望が尊重される職場環境

従来CNC※旋盤による樹脂切削加工の女性担当者はいませんでしたが、3年前に新人女性社員のCNC旋盤加工担当の希望を受け止め、現在では5名の女性が担当者として活躍しています。本人の希望が尊重され、性別に限定されずに活躍の場が広げられる職場です。

※CNC（computer numerical control machining）コンピュータによる数値制御



つのだ まさのり
代表取締役 角田 正典 さん

素晴らしい賞を頂けたことを、社員一同大変嬉しく思っております。これからも部署・性別問わず一丸となり、技術力up、元気な職場作りを目指したいと思います。社員は会社の宝です。良き社員を育てることが会社の発展に繋がると思っています。

つのだ むつみ
角田 睦 さん（勤続年数1年6カ月）

製造現場では切削加工時に油を大量に使うこと、刃物の加工をすることから、これまで女性だと油の匂いや汚れ、怪我の心配から現場での配属はあまりなかったそうです。しかし時代も流れ、現場配属希望の女性がいたことがきっかけで、女性が多く活躍することになりました。性別年代問わず皆が仲の良い、働きやすい職場です。

株式会社栃木プロジェクトプロ

業種： 広告代理業（テレビ、HP、チラシ等制作、イベント企画）
所在地： 北和田573-3

未来を動かす、まちを豊かにする「クリエイティブ」。私たちは『考具箱』、お客様の身近なシンクタンク総合広告代理店として「課題解決」のお手伝いを通じ地域に貢献してまいります。

取組み事例

◆子育て等一人一人の事情に沿った柔軟な勤務体制

本人の事情に合わせた柔軟な勤務体制をとっています。長く一緒に働いてもらえるように小さなお子さんがいる女性社員も、保育園送迎に合わせて勤務時間を短縮するなどしながら活躍しています。

◆安心して働ける職場環境の整備

技術を持つ退職者の雇用も積極的に行い、又、育児や介護で時間的な事情のある社員も働きやすい環境になるよう就業規則の見直しや外部専門講師による定期的な研修を取り入れています。



たかねざわ たけいち
代表取締役 高根沢 武一 さん

1988年9月に弊社は旧黒磯市内で創業しました。折しも、昭和から平成へ変化した時代でしたが、あれから30年、表彰をいただいた2018年も平成から〇〇へ変革の時、偶然ですがとても感激し、少し運命を感じました。「男女がともに働きやすい職場環境づくり」というテーマは「あたりまえなことを当たり前に行うべきこと」ですが、次の20年へ50年企業を目指す上でも、これから更なる参画対応への柔軟性、価値観の共有など、全社的に大切な行動指針あると考えております。

きむら みさき
木村 美咲 さん（勤続年数3年）

働く仲間の半分以上が女性である弊社の職場環境で、私はチーフデザイナーとして主にグラフィックを中心に関連する印刷物、看板、のぼり旗、ウェブ、映像制作などに携わってお客様に喜ばれる作品づくりで社会貢献をしています。社会から必要とされるデザインは昨今、「ユニバーサルデザイン」とも呼ばれ、男女別、年齢に関係なく見やすく、読みやすいデザインが理想とされています。これからも、より良いコミュニケーションの職場づくりを意識して努力と工夫をしていきたいと思っております。

表彰基準

- ① 性別にとらわれない能力活用や女性の職域拡大
- ② 仕事と家庭生活、その他の活動との両立支援
- ③ 男女の人権に配慮し、男女がともに働きやすい職場づくり
- ④ その他、男女がともに参画できる社会づくりに向けた積極的な取り組み

有限会社菊地市郎商店

業種：食料品製造業
所在地：錦町2-39

旧黒磯市にて麺類（ラーメン、うどん、そば、生パスタ、餃子、春巻きの皮など）製造販売、米類の卸業務をしております。那須塩原ブランド認定も頂いています。

取組み事例

◆性別によらない採用

現在の従業員男女構成比は5：5であり、ドライバーを募集した際には、女性の採用を行いました。性別によるのではなく、本人の希望や能力、人柄によって採用しています。

◆家庭生活との両立や、安心して働ける職場環境整備

「家庭あってこそ仕事」という考えのもと、お子さんの行事への出席や病院への付き添いなど、積極的に行うように声かけしています。また、職場の安全管理を徹底するとともに、福利厚生にも対応した社会保険にほぼ全員の社員が加入し、安心して働く環境に努めています。



代表取締役 菊地 成典 さん

今回の受賞、大変嬉しく光栄に思っております。当社は男女比が同数で、重要な役割を女性が受け持つことも多くある会社です。社風として家族を大切にすることをかけ、子供の行事などには積極的に参加することを推進しています。那須塩原市で地域に密着した商売を展開しており、従業員のほとんどの者が那須塩原市民であるため、社員、その家族を大切にすることが地域貢献になると考えております。

室井 加津枝 さん(勤続年数11年)

当社は仕事と育児を両立させている女性社員が多い会社です。そのため、子供の行事等への参加、また病気で欠勤などにも柔軟に対応しています。また、福利厚生も充実しており、社会保険への加入、健康診断、インフルエンザワクチンの無料接種、クリスマスケーキ、ワイン、恵方巻きなどの家族もうれしいプレゼントのある会社です。

西那須野内科循環器科クリニック

業種：診療所
所在地：永田町7-13

現院長の父が昭和29年鈴木産婦人科医院を開業し、昭和36年西那須野病院（医院）、平成7年現在のクリニックとなりました。循環器疾患を中心に地域医療に取り組んでおります。

取組み事例

◆性別によらない採用に向けて

看護師として3名、医療事務として5名の女性が勤務し活躍しています。募集の際には、勿論男女ともに募集をしており、男性の応募があれば公平に採用します。

◆家庭生活との両立に配慮した勤務体制

従業員を多めに採用しており、休暇をとってもカバーしあえる体制をとっています。また、誕生月に特別休暇の設定や、院長が認めた場合には、子どもや本人の病院通院時の遅刻・早退扱いを免除し、終了時刻前に診療・業務が終了した場合は、終了時刻前に業務を終了できることにしており、家庭生活との両立に配慮しています。



院長 鈴木 明裕 さん

今回は表彰を頂きましたことに感謝申し上げます。この機会は経営者としての私に改めて、職員の仕事と家庭生活の両立につきまして考える時間を頂きました。職種の関係でどうしてもお子様を育てながらの職員の方も多く、今までも私なりに配慮してきたつもりですが、今後も一層職員の家庭生活に配慮して取り組もうと考えております。

高柳 こづえ さん(勤続年数22年)

おはようございます！ 明るいあいさつから始まります。スタッフ一同協力し合い頑張っています。お互いにお互いの家族も思いやりながら有給休暇もとっています。“お互い様”と働きやすい雰囲気を保っていききたいと思えます。

みいな市民編集委員として活動して



柳場さん

以前、PTA 役員等を務めた際、役職についている女性の少なさを目の当たりにし、また、とある会議に出た際は、会議の準備は女性で発言は男性のみということがありました。会議は多様な意見を出すことが大切なのに女性というだけで意見を出させてもらえない、というのはおかしいのではないかと感じたんです。同時に、女性としてこれから変わっていかねば、と感じました。そうして様々な勉強をしていく中で、「男女共同参画」に触れ、男女共同参画広報紙「みいな」の存在を知りました。私も編集委員として参加しながら、男女共同参画について学んでいきたいと思い、後押ししてくれる人もいたことがきっかけで、みいな編集委員となりました。

「男女共同参画」という言葉は、なんだか硬くて難しく感じますよね。でも、「男女共同参画」はとても大切なものだと思います、みいな編集委員として、皆さんに分かりやすく伝えられるように活動してきました。

「女だから、男だから」という社会ではなく、男性も女性もお互いを尊重し合い、意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる「男女共同参画」社会が実現されればと思っています。ただ、「男女共同参画」といっても、「男性」も「女性」も何でも同じように、ということではないと思います。当然、身体的性差などは存在します。そういった違いを認め合いながら、それぞれができることをし、協力し合うことが「男女共同参画」なのだと思います。



みいな編集委員になった当初、実は「男女共同参画」というものがよく分かっていませんでした。でも、自身が経営している左官店に女性社員が入ってくれたこと、2人の子どもが生まれたこと、イクボスセミナーを受けたことなどを通して、「男女共同参画」について、学ぶことができました。もしも私が独身だったら、仕事第一の考えを家庭がある社員にも押し付けていたかもしれません。今ではできている家庭での役割分担もできていなかったかもしれません。



阿久津さん

また、「みいな」の編集で専業主夫の方にお話を伺ったことがあり、女性が働いて、男性が育児や家事をするという生き方に触れ、多様性の大切さを学びました。日本古来のしきたりやならわしも大切ですが、見直すことも必要だと思います。男女共同参画を実現することにより、より良い家庭、会社、地域が創造されていくのだと思います。

世界のバレンタインデー・ホワイトデー



鈴木さん

編集委員になるまでは「男女共同参画」という言葉は、私の生活のなかでは縁遠いものでした。しかし、「男女共同参画」の意味を噛み砕いてみると、「自分本位ではなく、相手を理解する、尊重する」という、今、地域社会でとても大事なことではないかと思うようになりました。

わざわざ「男女共同参画」と謳わなくても、男女共同参画広報紙「みいな(みんなで いっしょに なかよく)」のタイトルにあらわされるように、性別に関わりなく一人一人が尊重される、思いやりに溢れる社会になったら良いなと思います。

「男女共同参画」とはどういうものなのか発信していくことも勿論大切ですが、実際に自分自身が行動することで「男女共同参画」が周りにも広がっていくのではと考え、日々活動しています。

平成31年度「みいな」市民編集委員 募集中!

- 応募資格 市内在住または市内に勤務している20歳以上の方で、平日日中の編集会議(年20回程度)に参加できる方
- 募集締切 2019年3月11日(月)
- 応募方法 ①氏名(ふりがな) ②性別 ③生年月日 ④住所
⑤電話番号 ⑥職業 ⑦応募理由(100字~150字程度)を記載した書類(様式は問いません)を以下に提出。

編集委員/阿久津一志 菊池和子 菊池千恵 鈴木房代 柳場美枝子
編集/みいな編集委員 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課

〒325-8501 栃木県那須塩原市共壘社108番地2
Tel: 0287-62-7019 Mail: kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp